

平成25年度第2回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録要旨

1 日 時： 平成25年10月4日（金）午前11時～午後12時30分

2 場 所： 千葉競輪場4階多目的室

3 出席者： （委員）

森委員長、白土委員、市原委員、山本委員、藤本委員

（事務局）

神谷経済部長、鐺木所長、時田所長補佐、齋藤主査、葛巻主任主事

（日本写真判定株式会社 以下J P F）

渡辺代表取締役、吉井事業長、小宮事業長代理

浅岡記念競輪担当課長、鈴木主任

4 議 題

（1）包括業務委託の進捗状況モニタリングについて（7月～9月）

（2）第1回委員会提案事項の報告

5 会議経過

（森委員長）

議題1の包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、J P Fに説明を求める。

（包括業務委託の進捗状況モニタリングについて）

（J P Fが配布資料に沿って説明）

（各業務について）

- ・従事員の業務を拡大している。花いっぱい活動は、従事員とスタッフが連携して四季の花で場内を飾っている。苗は、市内の福祉法人から仕入れをしている。
- ・場内のベンチ等のペンキ塗りは、従事員とスタッフで綺麗に塗装した。
- ・イベントスタッフとして、従事員から2、3名参加している。

（集客の向上策について）

- ・競輪選手のトークショー、未確定車券の抽選会を土、日曜を中心に実施している。
- ・新規のお客様向けのイベントとして、夏のサマーナイトフェスティバルというナイター競輪で、ビアガーデンを実施した。いす・テーブルを設置して、ケータリングカーなどを入れて2日間実施した。
- ・サイクルクラブを設立して、毎週日曜日に練習を実施している。
- ・地域新聞とのタイアップとして、一般の方々向けの自転車情報誌の「i k o i」を発

行した。前回は7月に発行して、今回は9月に発行した。市内にポスティングしている。10月に千葉競輪開設記念のリーフレットを同封してPRしている。

- ・初心者向けのパンフレットを作成して、競輪場の新規のお客様やイベントで配布している。
- ・先日、QVCマリスタジアムで千葉競輪場の冠がついた試合時に記念のリーフレットと初心者向けのパンフレットを配布して、千葉競輪開設記念に向けてPRした。
- ・場内の分煙化について、9月15日から周知を図り、10月1日から分煙化を実施した。
- ・道路側の壁にペンキで下地を塗り、その上から壁面アートとして千葉大学の学生が作画している。下絵完成後に、福祉障害者施設の富里福葉苑から紹介の3団体が仕上げる。
- ・千葉競輪場のイメージキャラクターのライモンを、競輪場内外のできるだけ多くのイベントで活用する。
- ・従事員のモチベーション向上のための研修のモニタリングとして、従事員リーダー会議にJPFスタッフも参加して意見交換を実施している。
- ・入場口周辺のスペースを活用して先日のサマーナイトの時に縁日コーナーを設置したところ、大勢のお客様で賑わった。
- ・早朝入場者に対するサービスとして、FI開催時に先着順でスポーツ新聞の配布を実施した。今月開催する千葉競輪開設記念の時のファンサービス品としての配布も検討中。
- ・ナイターイベントのビアガーデン実施について、スポーツ新聞で全5段のフルカラー広告を行った。
- ・他のスポーツとのコラボということで、千葉競輪開設記念にトライアストロンの選手や元ロッテの小宮山氏がゲスト出演する予定。
- ・単価を上げる施策として未確定車券の抽選会、予想会の実施、CS番組での情報の充実を図っている。
- ・電話投票向けに、9月末のFI開催及び記念開催でキャッシュバックキャンペーンを実施した。
- ・女性、カップル、家族の集客として、千葉競輪開設記念で選手会ブース周辺に、新規のお客様向けのスペースを展開して集客を図る予定。
- ・VIPの集客については、来年度からスタートする予定。
- ・今年度下期からロイヤルルームの場外開催時の営業を協議中。

(千葉競輪開設記念について)

- ・開催日程のうち、土日の10月19日、20日に既存の競輪ファンだけでなく、一般の普段競輪に触れることの無いお客様に対する施策として、普段は使わない3・4コ

ーナーを限定的に空けて「i k o i フェスティバル」を実施する。

- ・サーカス、縁日、キッズコーナー、フードコーナーを企画している。予めプレミアムチケット、一般チケットを配布して、縁日、ビール、フード等の特典を設けて競輪をPRする。

(森委員長)

事務局にモニタリング結果についての説明を求める。

(事務局 時田所長補佐)

- ・受託者から提出のあった平成25年度開催事業実施計画にもとづき計画通り事業を実施していることを確認した。
- ・開催ごとに、7月～9月の開催業務実施計画書及び開催業務実施報告書の提出を受けて、市営競輪の開催業務について検査を行い、実施計画通り開催業務を良好に遂行していることを評価した。

(市原委員)

10月の千葉競輪開設記念の計画金額65億円の見込みは変わらないか。

(事務局 鎗木所長)

- ・今年度は全国12場で場外発売されるジャパンカップ(17億円の売上)という大きなFⅠレースが6月にあったが、6月に開催できるかどうか、直前まで決まらなかった。
- ・他の競輪場を見ても、昨年よりも若干下がっており、開催日程が他の競輪場の開設記念競輪(GⅢ)と重なることがある。重なると普通開催(FⅠ・FⅡ)だと場外発売をする競輪場が少なくなる。このため、車券売上額が落ち込む状況ではあるが、千葉競輪開設記念は、場外発売を見込めるため昨年度と同じ65億円を目標車券売上額とした。
- ・新年度が始まって、川崎競輪場が4月に開設記念を開催する。4月、5月と記念競輪を開催すると、その年度の開設記念がどの位売れるのか見えてくる。
- ・年金の支給される偶数月は、奇数月よりも車券売上額が多い。千葉の場合は10月17日から20日。年金をもらった直後の開催。昨年度並みの65億円はクリアできると設定した。

(森委員長)

9月に他場で開催された開設記念の車券売上額はいくらか。

(事務局 鎗木所長)

- ・松戸が8月のお盆の時期に開設記念を開催し、車券売上が80億円を超えた。それ以

外は60億円から65億円の間。先日の青森が62億円、9月の終わりに開催した京都向日町が63億円。

年間で58日の本場開催があるが、そのうちの開設記念（4日間開催）が唯一の黒字開催のため、最低でも60億円は売らないと、赤字だったレースを含めた年間の収益が黒字にならない。（開設記念は、年間売上の大半を占めているレースで、最も収益がある）

（藤本委員）

前回の委員会の時に、競輪場の雰囲気改善について意見をしたが、雰囲気が清潔感あり、改善されていた。細かい所で、壁に据付けられたビニールのベンチや柱の影に隠れている看板に埃が被ったままで字が見えないものがあった。

（J P F）

- ・競輪場内の点検をして順次改善する。

（白土委員）

ナイター場外開催の入場者の推移はどうか。

（事務局 鎗木所長）

- ・平日の昼間開催して、そのままナイター場外を開催しているが、F I開催の入場者は約1,000名。昼のレースが終わるとお客さんは帰るため、残るお客様は150名から200名。特別観覧席の2階は約20名。ガールズが終わるまでは50名ぐらい。ガールズが終わると少なくなる。
- ・入場者ではないが、売上が当初4月の松戸のナイターをやった時は1000万前後だった。最近では1,400万円前後。ガールズの有無によっても売り上げが違う。

（白土委員）

平日のお客様を増やすには、ナイターが効果的だと思う。昼間来ていただいたお客様が夜残らないことについては、新しいお客様がうまく入るようにPRしていただきたい。

サイクルクラブの会員数は、現状で大体何名か。

（J P F）

- ・現状は4名。来場者はもう少し多い。多い時で10名。

（白土委員）

セオサイクルなどの協力によるものか。

（J P F）

- ・そのとおり。

(白土委員)

「i k o i」の発行部数は。

(J P F)

- ・総発行部数は10万部。8万5千部を流通（メール便）とポスティングで、ほぼ千葉市内全域に配布している。

(白土委員)

作りも非常に面白い。一般の方でも読める内容になっている。千葉競輪開設記念の時の新規顧客のためのスペースに、人を集めるサービスはあるのか。

(J P F)

- ・新規ファンに対するブースとして初心者ガイダンスのコーナーを設けた。応援グッズも用意する。

(白土委員)

具体的にはどなたがガイドをするのか。

(J P F)

- ・MCとして、川崎競輪で今CS放送の実況している二宮氏とJ P Fのスタッフ3名で対応する。

(森委員長)

7月後半の高知競輪のアクシデントの時に、千葉競輪場としてお客様の対応がうまくできたのか。高知の開設記念最終第11レースで有名選手の走行について問題があり、その判定が出るまでに十数分かかった。結果的には失格で、9車立ての8車が失格となった。投票は成立しなかった。そのレースの車券売上は全返還。

アクシデントが起こった時に、的確に対応できるかどうかを聞きたい。

(J P F)

- ・決定の遅延により、お客様が待っていらっしゃった。たまたまナイター開催があったので、モニターを見ているお客様が多かった。特に混乱はなかった。

(森委員長)

全国44の競輪場で、上半期6か月間の売上は、対前年比で99%ぐらい。特別競輪、GⅠ・GⅡと言われるものが、約95%。GⅢと言われる開設記念については100%を超えている。FⅠ開催については、102%ぐらい。FⅡについては90%ぐらい。FⅡレースは昨年は1日11レースであったのが、4月から1日10レースとなった。売上げは下がったが、収益率については下がり止まったと思う。10レースと

1 1 レースでは幹旋される選手数が違う。賞金額も減った。今までのFⅡの赤字額は、約2千万から3千万だったが、赤字額が削減されたと思う。

(藤本委員)

「ライモン」をどのように派遣したのか。

(J P F)

- ・マスコットキャラクターの「ライモン」はスタッフ2, 3名と一緒に派遣して、初心者向けのパンフレットや競輪場の案内を配布している。「ライモン」がいるとお子様などが寄ってくる。

(藤本委員)

ライモン君が競輪場のキャラクターだと分かるようにチラシを配れば、一段と効果が上がると思う。

(J P F)

- ・本来なら、キャラクターを作る段階で自転車あるいは競輪のキャラクターだとわかるようにすべき。競輪場のタスキをかけるなど、工夫する。

(森委員長)

了承。